

# 北海道における航空ネットワークの充実

【戦略的目標『アジアに輝く北の拠点』への対応】

『アジアに輝く北の拠点』では、グローバルな競争力ある自立的安定経済を実現する施策として、「国際競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けた観光の振興」や「東アジアと共に成長する産業群の形成」が掲げられている。

「国際競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けた観光の振興」については、北海道の魅力的な観光資源を生かして海外との観光交流の拡大を図ることが重要であり、海外との玄関口となる新千歳空港等において国際空港機能の向上を推進する。

また、「東アジアと共に成長する産業群の形成」については、内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上を図り、北海道の地理的優位性を活かした国際物流拠点の形成を図るため、新千歳空港の国際航空貨物の輸送に係る機能強化を推進する。

## 【人流】

- ・ 新千歳空港の滑走路延長（3500m化）が閣議決定（平成8年12月）
- ・ 国際旅客に対応した空港機能の向上（新千歳空港新国際線ターミナルビルが平成22年3月に供用開始、冬期における定時性確保のためのデアイシングエプロンの整備・ILSの双方化等）
- ・ A-netの道内拠点の新千歳空港への移転（平成22年7月1日）やHACの丘珠空港の拠点化
- ・ 中国を始めとする外国人観光客の増加を図るため、新千歳空港への外国航空機乗り入れ時間帯を拡大（平成22年3月28日）
- ・ LCC（ローコストキャリアー）の新規参入

## 【物流】

- ・ 国際旅客数の増加とともに国際貨物量は増加傾向
- ・ 運休路線の再開や新規路線の誘致が必要
- ・ 深夜・早朝時間帯発着枠に制限がある
- ・ 貨物ターミナル地区の整備、CIQ体制の充実など国際貨物定期便就航にむけた基盤は一定程度整備されている

「戦略的取組」を取り巻く現状・課題

具体的戦略

検討項目

施策群

空港を核とした観光拠点の形成

- ・ 航空における安全・安心の確保
- ・ 海外との観光交流の増大
- ・ 長距離国際旅客路線の就航
- ・ 空港アクセスの強化
- ・ 航空ネットワークの強化

国際物流拠点の形成

- ・ 国際航空貨物の需要喚起・創出
- ・ 輸送時間の短縮、コストの削減
- ・ 既存航空路線の活用
- ・ 新規路線の開設

空港機能の保持 / 就航率の向上 / 空港施設の耐震化 / 冬期の安全運航の確保 / 東アジア欧州路線等の誘致

小型機による輸送

リーファコンテナによる輸送

施策群の連携機関：北海道、市町村、北海道国際物流戦略チーム 等

日本再興戦略との対応：立地競争力の更なる強化 等